

あいち企業力強化連携会議全体会議及びノウハウ共有分科会を開催しました。

事業者の経営改善・事業再構築・事業再生の取組みを、地域の金融機関や中小企業支援機関等の関係機関が一丸となって取り組んでいくことを目的とした「あいち企業力強化連携会議全体会議」及び「ノウハウ共有分科会」を令和5年9月6日（水）に開催しました（32金融機関、25中小企業支援機関等から延べ101名が参加）。

◆第一部 あいち企業力強化連携会議第23回全体会議◆

1 テーマ

「激変する外部環境の中での事業者支援」

講師：株式会社アテナソリューション 代表取締役 立石 裕明様



- 不確実性が高まる中での伴走支援の在り方や今後の方向性について、自身が経験した事業承継、第二創業、事業再生の体験談や当時の思いを交えながら進行。
- 対話と傾聴の重要性とともに、小規模事業者には課題への早期対応のため資金繰り表作成による支援が重要となる。
- 廃業支援は金融調整による廃業までを支援するのではなく、さらにその次の生き方を考えるための計画作りまでが支援である。

2 テーマ

業種別支援の着眼点

・「業種別支援の着眼点の活用にあたって」

説明：東海財務局 理財部 金融調整官 松永 和之様



- これまでに実施した事業者支援能力の向上を後押しする取組みや、『業種別支援の着眼点』作成の背景、コンセプト、想定される具体的な活用場面、更なる普及促進に向けて令和5年度以降に予定している活動等を紹介。
- 『業種別支援の着眼点』を事業者との対話に活用することで、信頼関係の構築、課題の共有、経営者の意欲向上等につながることを期待。

・「コロナ禍で変化した企業支援と業種別支援の着眼点」

講師：北門信用金庫 融資部 企業支援室長 伊藤 貢作様



- 『業種別支援の着眼点』の原案作成に携わった立場から、企業を取り巻く経営環境の変化や、『業種別支援の着眼点』編集時に気をつけていたこと、現場で活用する際のポイント等について説明。
- 『業種別支援の着眼点』は、すべての知見や要素を取り入れしている訳ではなく、広く浅いものであるため、各地域の実情や組織、個人の用途に応じてご当地版に修正するなどの工夫を加えた活用を提言。

◆第二部 第2回ノウハウ共有分科会◆

「業種別支援の着眼点」について

「業種別支援の着眼点」について、活用方法や実際に支援をするうえで重視していることなどを会員機関である金融機関・支援機関の実務担当者が3つのグループに分かれて意見交換を実施し、踏み込んだ議論が行われました。

意見交換を通して、事業者支援の知見・ノウハウについて共有するとともに、連携した支援を実践していくための目線合わせや人的なネットワークの形成を図りました。

業種別支援の着眼点とは

⇒金融機関の現場職員が経験に関わらず円滑に事業者支援に着手できるよう、事業者支援のニーズが予想される業種を中心に、有識者の知見を踏まえつつ、事業者支援に当たっての業種別の着眼点を整理する取組で、今般、5業種（建設、飲食、小売、卸売、運送）の『業種別支援の着眼点』が取りまとめられました（※本分科会では建設、飲食、運送業についての意見交換を実施）。

